

店頭タブレットの導入について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、顧客満足度の向上や営業店の生産性向上が期待できる「店頭タブレット」の導入を決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、2023年1月からの取り扱い開始に向け、富士通株式会社（代表取締役社長 時田 隆仁）および株式会社NTTデータ（代表取締役社長 本間 洋）と共同で準備を進めております。

当行は、引き続きデジタル関連施策の拡大等を通じ「『Vision 2030』～未来を切り拓くリーディングカンパニー～」の実現に努めてまいります。

記

1. 概要

「店頭タブレット」は営業店窓口に設置し、普通預金口座開設、届出事項変更（名義、住所、電話番号）および事故受付などの手続を、行員とお客さまの双方向で簡潔に行うことでお客さまの手続き時間短縮によるCS向上のほか、行員の生産性向上も併せて実現するものです。

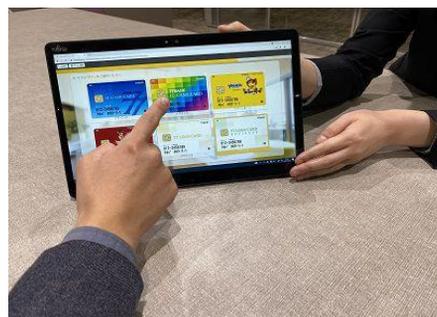
2. 内容

- (1) 従来は、お手続きの申込みにあたり、申込用紙に多数の項目を記載のうえ押印を頂いておりましたが、「店頭タブレット」では、画面に表示される項目に従ってご入力いただくことで取引が完了し、お客さまは「記入レス」「印鑑レス」で取引を完結でき、お手続き時間の短縮が図られます。
- (2) また、「店頭タブレット」に入力されたデータは、API接続で銀行システムに自動連携されることにより、オペレーションレス化とペーパーレス化を実現し、生産性向上が図られます。

<店頭タブレットでお取引できる手続き（予定）>

- ✓ 普通預金口座開設
 - ✓ 定期預金・積立預金口座開設、解約
 - ✓ 届出事項変更（名義、住所、電話番号）
 - ✓ キャッシュカード、通帳の紛失受付、再発行
 - ✓ WEB通帳への切替手続 等
- ※個人のお客さまを対象とします。

<端末イメージ>



3. 導入するソリューション・基盤

店頭タブレット：「^{コードシップ}CHORDSHIP」（富士通）

A P I 基盤：「オンラインデータ連携基盤」（NTTデータ）

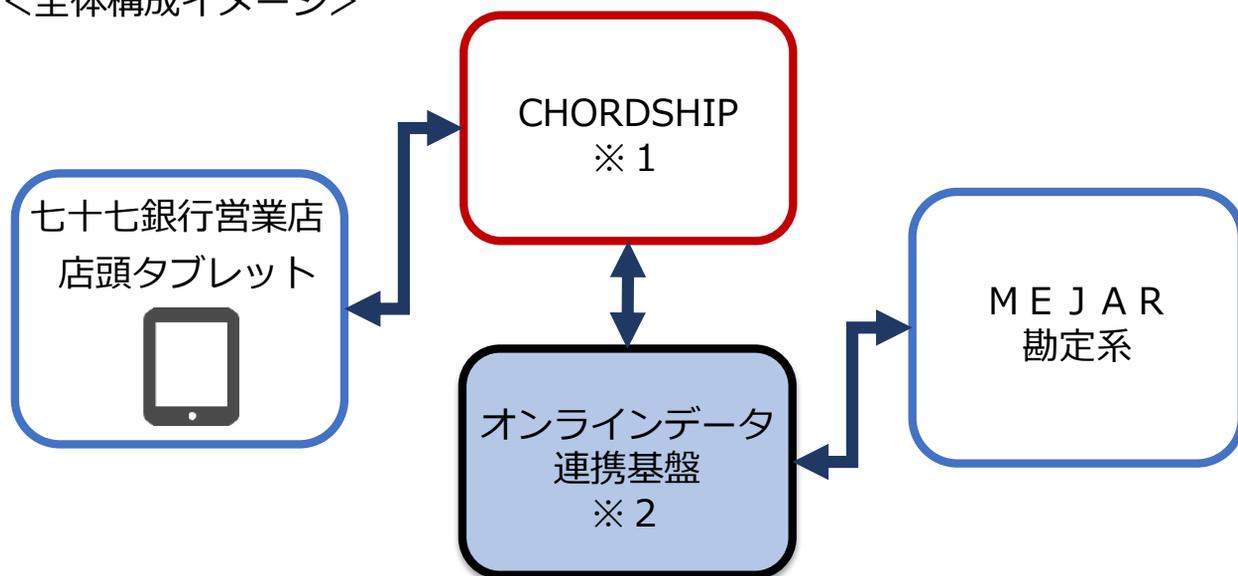
4. 導入時期（予定）

2023年1月

5. その他

今後、店頭タブレットで構築した仕組みをスマートフォン等の非対面チャネル取引に拡大する検討を進め、お客さまの更なる利便性向上に努めて参ります。

<全体構成イメージ>



※1：様々なチャネルと業務システムをつなぎ、UXの向上や業務の効率化を支援するソリューション。業務フローを設定ベースで構築できるローコード開発機能により、効率的な開発を実現している。

※2：勘定系システムなどの銀行システムと外部サービスをAPI接続により容易に接続できる基盤。なお、MEJAR利用行である横浜銀行とNTTデータが開発した業務アプリケーションを流用することにより、効率的な開発を実現している。

（関連するSDGs）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上